

旅行業界関係者各位

2018年10月31日

「港珠澳大橋」 開通



↑最もマカオ寄りの斜張橋「九洲（ジウゾウ）航海橋」。その先に広がるのはマカオの街（右手は珠海）

2018年10月24日（水）、マカオ、珠海（中国）、香港の3都市を結ぶ世界最長の海上橋「港珠澳大橋（こうじゅおうおおはし：Hong Kong-Zhuhai-Macao Bridge=HZMB）」が開通しました。香港国際空港脇の「香港口岸」（イミグレーション施設）と「マカオ口岸」間は24時間シャトルバスが運行、日中のピーク時には5分おきに出発します。香港とマカオ双方のイミグレーション施設間を最短30分で結び、日本から香港国際空港を経由してのアクセスがより多彩になりました。

これまで夜間・早朝の香港便利用の場合は、空港-マカオ間のフェリー運行スケジュールの関係から、香港市街のフェリーターミナル経由での移動や、香港での前泊が必要でした。港珠澳大橋開通で深夜・早朝でも15~30分に1本のペースで香港・マカオを結ぶシャトルバスが運行され、24時間いつでもアクセス可能になりました。シャトルバスの運賃は65香港ドル（24:00~5:59は70香港ドル。）




港珠澳大橋の開通は経済や物流のみならず、粵港澳大湾区（広東・香港・マカオ・グレーターベイエリア）の11都市間を取り巻く観光促進にも大きな効果をもたらすことが期待されています。空の便ではマカオと香港以外に、日本からは深圳と広州に直航便が就航しており、加えて今年9月開通した香港・深圳・広州を結ぶ「広深港高速鉄道」とも連動して、新たな旅のコースを組み立てやすくなります。グレーターベイエリアはマカオ同様に世界文化遺産に登録されている「開平」や、ユネスコ食文化創造都市の「順徳」のような観光資源を有しています。

香港国際空港を起点とする港珠澳大橋の総延長は55km、そのうち「メインブリッジ（36km）」は海上橋と海底トンネル（6.7km）で構成されています。片側3車線、自動車専用道路で車両の法定速度は100km/H。構想から30余年、2009年に着工が始まり、総工費は約1千億元（1兆6千億円）とされています。

本件に関するお問い合わせは以下まで

マカオ政府観光局 市村・山岸・斉藤

Tel: 03-5275-2537 Fax: 03-5275-2535 Email: macaopr@milepost.co.jp

マカオ政府観光局公式 SNS  @macaotourism.jp  @macaotourism_jp  @macao_japan